

News Letter

世界に賛美と福音を

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ

<http://akworship.com/>

Vol.69

SPRING
2018



AKWM

(旧、工藤篤子音楽ミニストリーズ)

欧州から日本へ

工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 代表

工藤 篤子

わたしがあなたを遣わすどんな所へでも行き、
わたしがあなたに命じるすべてのことを語れ。

(エレミヤ書1章7節)



35年の欧州生活に幕を閉じ、いよいよ5月15日(日本到着は16日)に本帰国をすることになりました。1983年、スペイン留学を決意した私は、よく友人たちに「スペインが私を呼んでいる」と言っていました。留学の目的は大好きだったスペイン音楽を学ぶためでしたが、確かにスペインが私を呼んでいると思いました。あそこへ行ったら何か特別なことが起こる、と。しかし、私を呼んだのはスペインではなく、神でした。

その翌年、私はマドリッドで、アメリカ人宣教師夫妻を通してイエスを信じました。実は、私を救いに導いてくれたダニエル&クラウディアが夫妻に最初に出会ったのは、マドリッドではなく、スペイン到着後すぐに向かった、サンティアゴ・デ・コンポステラでした。1983年夏、スペイン政府からの給費生として参加した「サンティアゴ・デ・コンポステラ・スペイン音楽国際セミナー」に、ダニエルも参加していたのです。数日後には道でご一家に出会い、クラウディアのお父様が日本の大学で英語を教えておられること、クラウディア自身も数年、東久留米にあるCAJで学んだことなどを親しく話してくれました。

私は、その年の秋からバルセロナの音大で学ぶ予定でしたが、マドリッドにとっても良い先生がいると聞き、マドリッド国立声学院に入学しました。そこでダニエルと再会したのです。彼はこの学校で声楽を学んでいました。後に、一緒に声楽を学んでいたルームメイトのアメリカ人マーシーが、以前彼のもとで聖書を学んでいたことを知り、1984年秋、マーシーと2人で彼らから聖書の学びを受けるようになりました。一か月後、マーシーと私は数日を隔ててキリストを信じました。

1987年、私の人生に大きな変革が起きました。宣教師夫妻がドイツに宣教地を移すにあたり、マーシーと私に、一緒に協力者として来てもらえないかと聞いて来られたのです。神は、それぞれに聖書のみことばをもって「同行」を示されました。自分の思いに反して、初めて神の導きに従った時でした。歌を捨て、お金もなく、健康状態もすぐれない、言葉も話せない、ゼロからの出発でした。

しかし、主はいつも共にいてくださいました。エジプトを出た民を荒野で養われたように、主は、お金の無い時には食べ物・着る物・寝る場所を、滞在許可が得られない時には法的に欧州に滞在できる不思議な手立てを、健康を害した時にはみことばと信仰を与えてくださいました。あまりの辛さに霊的に転倒したこともありましたが、神はそのことを通して深い悔い改めに導かれ、徹底的に私を砕かれました。自分の罪の大きさを知ると同時に、その罪を赦す絶大な十字架の愛に触れるようになりました。このように、神に仕える者となるために、主は、岩のように固い私を砕き、愛の御手をもってここまで導いてくださいました。

私を救い整えるために欧州に呼んでくださった神は、今、私を欧州から日本へ遣わそうとしておられます。帰国というより、派遣されるのだという認識をもって、今、私は日本へ帰ろうとしています。神が私を霊的に育ててくださった地、欧州への思いは尽きません。そして、今度は祖国日本で、遣わされた者として主にお仕えして行きたいと思っています。皆さま、どうぞこの者の新たな歩みのために、工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズの働きのために、今後ともよろしくご支援ください。



欧州レポート

チューリッヒ、パリ、ブリュッセル、アイントホーフェン

3月6日～26日、3週間に亘った欧州ツアーを、主の守りと祝福のうちに終えることができました。主はすべてのコンサートを導いてくださり、また、各地の教会の姉妹と交わり祈り合う幸いな時を持たせていただきました。日本から来てくださったピアニストの野田常喜さんも、素晴らしい演奏奉仕をしてくださいました。欧州宣教を祈ってきた私にとって、帰国前に4つの国で伝道コンサートをさせていただけたのはこの上もない喜びであり、神様からのプレゼントでありました。コンサートの詳細はメールマガジン232号に詳しく書かせていただきましたので、ホームページからお読みいただければと思います。本紙では各主催教会のご紹介とメルマガに記載できなかった報告をさせていただきます。

3月9日(金)、チューリッヒ改革派フランス語教会をお借りして、スイスJEGが主催してくださったコンサートには、多くの日本人・スイス人が来ていただきました。

1993年、札幌聖書キリスト教会(当時の札幌東教会)で、スイスから遣わされていたゲルスタ宣教師ご夫妻に出会い、チューリッヒで日本語集會が始められたことをお伺いしました。先生は、「スイスの日本人の救いのために祈ってください。そして工藤さん、いつかスイスで伝道コンサートをしてください。」とおっしゃり、スイス集會の所在地が書かれた一枚のカードをくださいました。あの時のゲルスタ先生の願いが、あれから四半世紀が過ぎた今年の3月に実現したのでした。

チューリッヒ(スイス)

「スイス日本語福音キリスト教会」(スイスJEG)は、1993年11月、日本と日本人を愛し半生を捧げたスイス人宣教師と在スイス邦人キリスト者によって創立されました。日独2カ国語で礼拝を行うスイス唯一の超教派の教会です。月に2回行われている礼拝には、日本で宣教師として働いてこられた多くのスイス人宣教師も集っておられます。大阪府とほぼ同じ人口の小さな国スイスから、これだけの宣教師が日本へ遣わされて来たことを思うと、胸が熱くなります。



3月9日チューリッヒ改革派フランス語教会でのコンサート

パリ(フランス)



3月16日パリTemple du Maraisのコンサート

3月16日(金)、パリ日本語教会の全面協力による「マレ・クレティアン」(マレ地区の教会主催の2週間に亘るコンサート・フェスティバル)主催ということもあって、19世紀初頭にナポレオンがプロテスタント教会に認定したバステューユの美しいマレ・プロテスタント教会(パリ市指定歴史建造物 Temple du Marais)の教会に、日本人だけでなく、多くのフランス人も来てくださり、会堂は一杯になりました。

「パリ・プロテスタント日本語キリスト教会」はパリで唯一の日本語による礼拝が持たれている超教派の教会です。1980年の家庭集會に始まり、さまざまな会場を経て、パリ

このニュースレターは、次の方々のご支援をいただいています。

**VIP関西センター
テナントビル**

地下鉄北浜駅②号出口正面

〒541-0041 大阪市中央区北浜2-3-10
TEL.06-6232-1185 担当者:梅津

医療法人
クリニック石田

診療科目/耳鼻咽喉科

〒558-0055
大阪市住吉区万代3-12-5
ハイムスタイン2階

南海高野線、帝塚山駅下車/徒歩10分
阪堺軌道鉄道土町線、帝塚山3丁目下車/徒歩5分
大阪府立急性期医療センター前/北に徒歩3分

TEL.06-6676-1700
院長:石田 稔
http://www.eonet.ne.jp/~clinic-ishida/

オフィス家具全般

(有)吉屋

〒558-0014
大阪府大阪市
住吉区我孫子5-4-13
TEL 06-6699-2415

株式会社
富川グロリアホーム

「終の住みか」を備えるために
労れます。

〒055-0006
北海道沙流郡日高町富川南4-2-49
TEL.01456-3-4000

ミクニカイ株式会社
水とエネルギー

本社 〒532-0033
大阪市淀川区新高3丁目7番9号
TEL(06)6394-0671
FAX(06)6394-0710
E-mail:sakamotot@mikunikikai.com
URL:http://www.mikunikikai.com

**atelier
phos**

DESIGN < > WORK

http://atelier-phos.com/

協賛広告募集

詳細は事務局に
お問い合わせください

中心街にて礼拝をしたいという長年の願いが実り、2006年12月24日より、バステュークのTemple du Maraisで礼拝を持っています。パリ教会は長年、「あなたの隣人を自分自身のように愛せよ」というみことばに従って、欧州の邦人教会・団体を霊的・物質的に支えて来られました。今回のパリ滞在中も、牧師館で行われた祈り会で、欧州の集会、関係者のために熱心な祈りが捧げられました。

ブリュッセル(ベルギー)

「ブリュッセル日本語プロテスタント教会」は、1982年に始まったケルン・ボン日本人キリスト教会牧師の応援伝道による集会を経て、2006年のペンテコステに設立されました。2014年秋以後は代務牧師、ピンチヒッターの牧師などに支えられながら礼拝が献げられてきましたが、昨年秋、川上寧・真咲両牧師ご夫妻が着任し、新たな歩みが始まりました。

3月18日(日)の「プレイズ&ワーシップ」では、10人ほどの小さな群れのブリュッセル日本語教会が心を込めて準備をしてくださいました。会場となった「アトリエ・マルセル・アスティール」は、ベルギーがナチスに統治されていた時代、レジスタンス運動の拠点となったところ。ここでユダヤ人を逃がす計画が立てられ、多くのユダヤ人が画家アスティールさんたちによって助けられたのです。ユダヤ人のために祈って来た私にとって、ここで真咲先生のメッセージと共に伝道コンサートをさせていただいたことは大きな喜びでした。



3月18日ブリュッセル「アトリエ・マルセル・アスティール」でのコンサート

アイントホーフェン(オランダ)

「オランダ南部日本語キリスト教会」(JCSN)は、オランダ南部に位置する、人口22万の都市アイントホーフェンに、2013年3月に設立された超教派のプロテスタント教会です。礼拝は、月に一度、ペイトン朝子さん・ジョンさんのお宅の敷地にある「羊小屋」と呼ばれるチャペルで行われています。南部教会の礼拝には、オランダの他の町からだけでなく、

ドイツやベルギーからも人々が集まり、3つの国をつなぐ集会です。

24日(土)のオランダ改革派「エマオ教会」主催(オランダ南部日本語教会全面協力)のコンサートにはオランダ人・日本人合わせて150人以上の方々が来てくださいました。



3月24日アイントホーフェンのコンサートでの会衆賛美「よき力に守られて」

個人的なお分ちになりますが、2002年、マリア福音姉妹会で、オランダ人、アニー・ハウツヴァルトさんに出会いました。第二次世界大戦時代、インドネシアに住んでいたアニーさん一家は日本軍の収容所に入れられ、ひどい扱いを受けました。お父様は日本の俘虜収容所に送られてそこで亡くなりました。オランダには、アニーさんのように日本軍に苦しめられた人、その遺族が多くおられます。オランダでコンサートをさせていただく時には、その負債を、永遠のいのちと完全な癒しをもたらす福音をもってお返しさせていただきたいという特別な思いで皆さんの前に立たせていただいています。そのような意味で、3月の欧州ツアーの最後をオランダでしめくくらせていただけたのは、私にとって大変意義深いことでした。

.....

欧州には現在30余りの日本語教会・集会があります。「日本語教会」と呼ばれるようになったのは、在住地に国籍を変更した方々、欧州で生まれ育ったサードカルチャーキッズ、外国人配偶者などもそこに加わっていることから、かつての「日本人」から「日本語」へと変更されたためです。欧州には、現在約14万人の日本人が住んでおり、短期留学・就労者、国籍を変更した方とその家族を含めるともっと大きな数になります。国外で救われる日本人・日系人の数は日本で救われる数より多く、欧州では、多くの若者が献身へと導かれています。皆さま、どうぞ欧州の日本人、日系人の救い、教会の祝福、そしてここで救われた人々が神に仕える者として整えられて行きますようお祈りください。

教会や少人数グループでのイスラエルツアーを計画しませんか。

ご予算や人数に応じて、ご希望にお応えできる聖地旅行を企画、見積もりいたします。充実、お手頃価格、手作りのツアーをなさいませんか。お気軽にご相談ください。

(株)ホーリーランド ツーリストセンター
担当:石田
TEL:06-6226-1307
FAX:06-6226-1308
E-mail:htcjr@mifty.com

賛美セミナーⅡ DVD 2枚組
15年11月7日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠのアイテムと合わせてご注文される場合、特別価格でお求めいただけます。その際は、オンラインストアではなく、メール、電話、ファックスでお申し込みください。

賛美セミナーⅠ DVD 2枚組
13年11月4日大阪セミナー録画
定価4,000円(税込)

賛美セミナーⅠ CD 4枚組
13年11月9日東京セミナー録音
定価4,000円(税込)

賛美セミナー DVD、CDも好評発売中!

工藤 篤子 著書&音楽CD 好評発売中

ご注文、お問い合わせはAKWM事務局まで

 主よ人の望みの喜びよ 定価1,500円(税込)	 よき力に守られて 定価2,500円(税込)	 ほんとうの願い 定価3,000円(税込)	 神だけが 定価2,500円(税込)
 カンシオン 定価2,500円(税込)	 Come To Me 定価3,000円(税込)	 讚美 Adorar 定価1,500円(税込)	 讚美のころこ 定価1,600円(税込)

Schedule 工藤篤子 2018年スケジュール

5月	
15日(火) 下旬	帰国(日本到着は翌16日) 住居引越し(大阪市→堺市)
6月	
17日(日)	礼拝奨励奉仕 北浜インターナショナル・バイブル・チャーチ
8月	
12日(日) 14:00~	2018年召天者音楽記念式 会場: アミューホール ~ ニューホープチャーチ&医療法人社団中島医院 音楽サービスシリーズ第232回 ~
9月	
24日(月)	湘南キリスト教会 秋のコンサート集会

10月	
19日(金) 28日(日)	第17回 AKWMチャリティー・コンサート 宝塚栄光教会 チャペル・コンサート
11月	
18日(日) 23日(金)	所沢福音キリスト教会 チャペル・コンサート 第81回 コーヒーアワー コンサート (CAJクリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン)
12月	
1日(土)	阪神クリスマス フェスティバル (尼崎アルカイクホール)
9日(日)	クライストコミュニティ宝塚チャペル クリスマス・コンサート
15日(土)	高槻福音自由教会 クリスマス・チャーチ コンサート
23日(日)	活けるキリストー妻大阪教会 クリスマス・コンサート

Echo 欧州コンサート

■教会に関係ない私ですが、本当に、感動した。教会音楽!彼女の声は、素晴らしい。知らないうちに涙が出ていました。こんなことは初めてです。今回は得難い体験すぎて、言葉にできません。

■篤子さんはめずらしく温かみがある、美しい声の方ですね。あれから篤子さんのCD(主よ人の望みの喜びよ)を思い出しては聞いています。彼女の歌を聞いていると気が和み、ほっとします。

■「アメイジング・グレイス」が一番良かったです。今までいろんな人が歌うのを聴いてきましたが、篤子さんの歌い方が他の人達とは全然違うので、驚きです。とてもナチュラルで特に工夫しているようには聞こえないけど、違うので、不思議です。

■素晴らしいコンサートでした。日本語、スペイン語、ドイツ語、英語での篤子さんの熱唱に耳を傾け、俗世のことを忘れてしばし天に近づけたようでした。彼女の歌はクリスチャンの勝利の歌声でした。

■野田常喜兄は本当に優れたピアニストで、特に賛美伝道コンサートの伴奏にかけては私の知る限り世界で第一人者としての実力をお持ちの方と思っています。彼が奏でる最初の一音がその場の空気を一変させ、工藤篤子姉の賛美を主に捧げる橋渡しを

担っている様に感じられます。それは、即興演奏にも長けている野田さんが、賛美コンサートの為に、ひとつひとつのことばを表現し支える賛美演奏を求めて、祈りと共に膨大な時間を練習に捧げて来られた結果だと思えます。

■正に神様が見守ってくださっていると感じました。今朝はとても寒い1日でしたが、心はとても温かかったです。初めて工藤さんの歌声を聞いたのはもう10年以上前のことですが、歌も話し方も雰囲気も全く同じで、若々しくエネルギッシュで生き生きとした姿に感動しました。野田さんの演奏はCDで何度も聞きましたが、やはり生演奏のピアノは格別でした。またいつかお二人の演奏を聞きたいなあ。

■今日のコンサートは、受難節にふさわしい夕べでありました。ソプラノ歌手と牧師が伝えた“良き知らせ”は、全く異なる宗教背景から来ている人々に、信仰の創始者であり完成者、道であり真理でありいのちである救い主イエスをしっかりと伝えており、そこには混ぜ物がありませんでした。私たち(スイス)の間で“当たり前のように存在している信仰”は、ヒューマニズム、善行などが混ぜられたものとなってしまいました。音楽の質は、高度にプロフェッショナルで、心の底から来るものでした!



工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ 事務局
Atsuko Kudo Worship Ministries

AKWMの伝道活動は、皆様のお祈りと献金と奉仕によって成り立っています。ご支援くださる皆様をこの活動の一員と考えています。この活動がますます主に用いられ、宣教が進みますように、どうぞ一員としてご参加、ご支援ください。

〒541-0041 大阪市中央区北浜2丁目3番10号
VIP関西センター5F「ミッション・宣教の声」方
TEL.06-6226-1334 FAX.06-6226-1336

口座が新しくなりました

郵便振替口座 00930-1-165955 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」
銀行振込口座 三菱東京UFJ銀行 瓦町支店(店番003)
普通預金0133752 「工藤篤子ワーシップ・ミニストリーズ」

*三菱東京UFJ銀行にお振り込みくださる場合はお名前前の表示をお願いいたします。あるいは事務局にご連絡いただけますなら感謝です。

✉ メールマガジン登録受付中!

office@akworship.com

メルマガ購読を希望される方や、その他のご連絡などは、上記のメールアドレスまでお願いします。メールマガジン、ニュースレターは、下記のホームページでもご覧いただけます。

Japanese HP <http://akworship.com/>

English HP <http://www.fgec.de/atsuko>

AKWM事務局のメールアドレスと日本語URLが新しくなりました